

導入年度	H2年度	設備名	焼成炉		
メーカー	(株)モトヤマ	型式	SC2035, SHV3535G	設置室	資源利用実験室

### 《 概要 》

電気炉は、主に金属やセラミック、ガラスの熔融や焼成などに用いられています。身近なところでは趣味の陶芸や陶器の焼成用に、また工業用ではガラス製品から最新の半導体や機能性セラミックスまで、研究から生産まであらゆる物の熔融や焼成に使用されています。

### 《 原理 》

電気炉は加熱部である炉体と温度制御を行う制御装置より構成されています。炉体は、温度を上げる発熱体とそれを保温する断熱材の組み合わせで成っており、炉内の温度勾配や昇温速度の条件に合わせて発熱体の種類や配置が変更されています。

### 《 装置外観 》



### 《 仕様 》

	SC-2035	SHV-3535G
炉内寸法 (mm)	200(W)×200(H)×250(D)	300(W)×300(H)×350(D)
発熱体	炭化ケイ素	二硫化モリブデン
制御方式	プログラム PID 制御	
加熱温度	室温～1400℃	室温～1500℃